

事業所名

南町田発達支援室 マナココ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

8 日

法人（事業所）理念		お子さんにはそれぞれ個性があります。お子さんの現状を把握することから支援がはじまります。一人ひとりに寄り添い、遊びを通して生きる力を育てていきます。						
支援方針		信頼できる大人とのかかわりの中で、小さな「できた」をたくさん積み重ねていきます。自分に自信を持ち、いろんなことにチャレンジする意欲を育てます。						
営業時間		9 時	30 分	17 時	0 分	送迎実施の有無	なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな遊びを通して学びが促進されるように環境を整えていきます。</li> <li>・絵カードを使用したスケジュールを提示し、見通しをもって活動に参加できるように構造化しています。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を楽しく動かしながら、自分の体の使い方を学びます。また、体幹の保持力や腕の支持力を育てて、姿勢をよくする基礎をつくります。</li> <li>・「視覚」「聴覚」「触覚」「固有受容覚」「前庭覚」などさまざまな感覚で触れ、その違いを楽しむ感覚遊びをおこないます。</li> <li>・ボール遊びなどを通して、固視、追視の経験や力加減を学んでいきます。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく、興味をもって取り組める課題を通して、認知機能の発達を促す支援を行います。</li> <li>・物の機能や属性、大小、数、色等の概念の形成を図っていきます。</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指さしやジェスチャーなど意思伝達の手段を獲得できるようコミュニケーションのやりとりを重ねていきます。</li> <li>・相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言葉のやりとりを丁寧に支援を行います。</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の様々な感情が相手に伝わった、受けとめてもらったという経験を積み重ね、信頼関係や自己肯定感の高まりなどにつなげていきます。</li> <li>・お子さんの段階に合わせた遊びを通して、社会性の発達を支援していきます。</li> <li>・自分の考えを言葉で伝えたり、他者の考えを聞くことで気持ちや情動の調整ができるように支援していきます。</li> </ul>						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援中はマジックミラー越しにお子さんの様子をご覧いただけます。</li> <li>・フィードバック時に家庭での様子をお聞きし、お互いに生活で活かせることや練習できることを探していきます。</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路や移行先の選択についての相談援助を行います。</li> <li>・必要に応じて、お子さんの様子や支援内容についての情報共有や支援内容等の擦り合わせを行う等の連携・支援の取り組みを行っていきます。</li> </ul>	
地域支援・地域連携		連携機関：南町田こどもクリニック 必要に応じて発達検査を実施し、医師・心理担当職員と情報を共有していきます。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の情報共有を行い、支援の統一性を大切にしています。</li> <li>・定期的に研修をおこなっています。</li> </ul>	
主な行事等		現在は未実施						

事業所名

南町田発達支援室 マナココ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

8月

5日

法人（事業所）理念	〇一人一人のお子さまの特性に合わせた、発達上効果的な療育を提供する。					
支援方針	〇発達検査や学校連携、事業所間連携、家庭連携を通してエビデンスのある包括的な支援を立案、提供していく。 〇個々のニーズをふまえ、ご家庭とご本人が軸になる包括的な支援を提供する。 〇専門性をもった包括的な療育を提供する（感覚統合療法、認知行動療法、心理療法、医療連携等々。）					
営業時間	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり ○なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	〇コンスタントに通所、相談支援を担保することで健康や生活サイクルの確認把握をおこない、助言する。				
	運動・感覚	〇感覚運動療法やビジョントレーニングをおこない、粗大運動や微細運動のスキル獲得を目指す。				
	認知・行動	〇認知行動療法、心理療法を用いて、ソーシャルスキル獲得を目指す。				
	言語 コミュニケーション	〇言語獲得や意味理解を促すトレーニングを導入し、円滑なコミュニケーションスキルの獲得を目指す。				
	人間関係 社会性	〇他4領域でのプログラムを踏まえながら、個々のニーズや周辺環境のニーズと照らし合わせながら、支援提供を行う。				
家族支援	〇必要な相談支援をおこない、包括的な支援を展開する。			移行支援	〇該当する場合は、関係機関と調整を行い、該当児、該当家族を主軸とした移行支援を実施する。	
地域支援・地域連携	〇該当なし。			職員の質の向上	〇定期的な研修受講、勉強会、他社会資源との連携を図り、育成につなげる。	
主な行事等	〇必要と判断した状況により、実施する。（ペアレントトレーニング、保護者会、季節の行事等。）					